

はじめての大阪開催!

第209回ゴム技術シンポジウム

ゴム製品の劣化と長寿命化

主催：日本ゴム協会 研究部会 環境劣化研究分科会

協賛：日本化学会、高分子学会、自動車技術会、石油学会、繊維学会、日本機械学会、日本接着学会、

(予定) 日本合成樹脂技術協会、日本材料学会、日本トライボロジー学会、日本レオロジー学会、日本複合材料学会、
プラスチック成形加工学会、マテリアルライフ学会 (順不同)

当分科会では、劣化の評価・解析、劣化メカニズムの推定、劣化抑制と長寿命化など、「エラストマーの劣化」に関する様々な調査を行っています。シンポジウムでは、毎回劣化に関する第一人者を招き、基礎から実用的な話題まで幅広くご紹介いただきます。今回は、アンケートの要望に応じて、初めて関西での開催となります。

日時：2015年2月4日(水) 午前10時15分～午後4時50分

場所：大阪科学技術センター 7階700号室 地下鉄 四つ橋線、御堂筋線「本町」下車
(大阪市西区鞠本町1-8-4) TEL 06 (6443) 5324代

受講料：日本ゴム協会会員 協賛団体会員 23,760円 日本ゴム協会学生会員 5,400円

※受講者が日本ゴム協会の正会員でない場合でも、ご所属の会社が法人としてゴム協会員(賛助会員)の場合は2名様まで会員扱いの受講料で受付けます

シニア制度対象者 11,880円(60歳以上の正会員) 会員外 32,400円

受講料には消費税・テキスト代を含みます

申込方法：弊会ホームページ <http://www.srij.or.jp/> よりお申込みください。(定員50名)

送金方法：現金書留又は銀行振込(三井住友銀行 日比谷支店 普通Na.7100847 一般社団法人日本ゴム協会)。振り込み手数料は受講者側でご負担ください。一度ご入金された受講料は返金いたしかねますので予めご了承ください。開催日が近づきましたら開催ご案内を発送いたします。

問合せ先：一般社団法人 日本ゴム協会 第209回ゴム技術シンポジウム係

(〒107-0051 東京都港区元赤坂1-5-26 東部ビル1階

FAX 03 (3401) 4143 TEL 03 (3401) 2957 Eメール nakagawa@srij.or.jp)

演 題	講 師・座 長
10:15~10:20 開会のあいさつ	環境劣化研究分科会主査 藤井 信彦 【座長】電気化学工業(株) 藤井 信彦
10:20~11:20 ゴムの架橋と劣化に関する基礎的解析 EPDMの硫黄架橋反応と熱酸化挙動に対する配合成分の影響について、放射光-時分割XAFS法をはじめとする各種解析法の応用により、構造と力学物性との相関を総合的に考察した。	(株)豊田中央研究所 福森 健三氏
11:30~12:30 ワックスのブルーム挙動と低温環境下におけるオゾン劣化の関係 -30℃低温オゾン試験がJIS K 6411「道路橋免震用ゴム支承」に追加された。今回は、ワックス配合加硫ゴムで生じる特有の低温オゾン劣化メカニズムについて解説する。	(一財)化学物質評価研究機構 岩瀬 由佳氏 【座長】(公財)鉄道総合技術研究所 伊藤 幹彌
13:30~14:30 ゴム加硫物の疲労劣化と対策 疲労劣化に伴う加硫物の物性変化及びゴム/充填剤/加硫形態の耐疲労劣化性への影響を述べると共に、加硫用薬剤及び老化防止剤による耐疲労劣化性の最近の改善例を紹介する。	大内新興化学工業(株) 太智 重光氏
14:40~15:40 車両用ゴム製品の劣化と耐久性 車両の防振に欠かせぬゴム製品の高機能化には、その使用による劣化の理解・評価は重要となる。本講演では製品における評価例の一端をご紹介します。	東洋ゴム化工品(株) 畦地 利夫氏 【座長】早稲田大学 伊藤 政幸
15:50~16:50 成形品中の老化防止剤の運命 老化防止剤無しでは現在の汎用ゴムでは信頼性が保てず、長期寿命も期待できない。それではその老化防止剤は配合、成形加工使用とどのような運命をたどるのであるのか?	(一財)化学物質評価研究機構 大武 義人氏
16:50~ 閉会のあいさつ	環境劣化研究分科会副主査 伊藤 幹彌

※プログラムは一部変更になる可能性があります。

☆お申込みは弊会ホームページ <http://www.srij.or.jp/> からお願いします。